

3

歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう

産業・観光

- 3-1 特色ある農業の振興と活性化〔農業〕
- 3-2 活力と想像力を育む商工業の振興〔商業／工業〕
- 3-3 地域資源を活用したにぎわいと交流の促進
〔観光／シティプロモーション／伝統産業／地方創生〕



3-1 特色ある農業の振興と活性化〔農業〕



1 現状と課題

本市は関東平野特有の平坦な地形を有し、災害も比較的少なく、安定した農業経営を行うことができることから、首都圏の生鮮野菜供給地として、露地野菜等の多くの農産物が生産されており、農業は本市における基幹産業としての重要な役割を担っています。

しかし、近年、農業従事者の高齢化等により離農者が増えていることから、今後も地域農業を維持するため、関係機関と連携しながら地域の担い手となる農業者を確保し、育成していく必要があります。

また、耕作放棄地の発生を防ぎ優良農地を確保するため、結城市地域計画により農地の現状把握を行いながら、農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化を進めるとともに、効率的な経営が行えるよう農地の再整備を含むインフラ整備を行う必要があります。

さらに、食の多様化、低価格な輸入農産物の増加などによる国産農産物の消費低迷や、農業用資材等の高騰は、農業者の所得の減少を招き、農業離れを助長する恐れがあります。

このため、農業経営の安定化・合理化を支援する施策を通じ、農業者の生活の安定や若返りの促進を図るとともに、本市産農畜産物の販路拡大活動を積極的に展開し、消費者から選ばれる産地を目指していく必要があります。

2 基本的方針

- 本市の基幹産業である農業の健全な発展や市民の健康的な生活の基礎となる食料を提供するために、これまでの慣行農業に加え、新たに有機農業に取り組むとともに、担い手となる農業者を中心とした農地の利用集積・ほ場整備や、高性能農業機械及びICT*・AI*などの技術を活用したスマート農業*の導入を検討し、限られた農業人口における効率的な農業を推進するほか、農業者年金への加入促進等により若い農業者が安心して従事できる農業環境の整備と経営の安定化を支援します。
- 地域農業の支援のため、JAなど関係機関との連携を強化するとともに、本市産農畜産物の特性を活用した地域ブランド化と地産地消や販売促進、6次産業化*を推進するほか、田植え・稲刈り体験や農産物の収穫体験などを通して農業に対する理解を深め、農村地域の活性化と農業の魅力を広める活動を積極的に展開します。
- 高齢化や後継者不足による担い手の減少、耕作放棄地の拡大、生産性の低下などの問題を解消するため、農業環境の保全や担い手の確保につながる、地域特性に応じた農業生産の基盤整備や就農機会の拡充を推進します。

3 基本施策の主な指標

	指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
指標1	農業産出額	1,582 千万円 (R5)	1,694 千万円	1,753 千万円
指標2	大規模農業経営体数	32 経営体	35 経営体	38 経営体

4 施策体系・施策が目指す姿

1 活力ある産地の育成

首都圏への生鮮野菜の供給が可能な立地条件を生かしつつ、消費者ニーズに即した優良な農畜産物の生産とブランド化・6次産業化*を推進することで他地域との差別化を図ります。また、家畜の感染症対策やまん延防止対策等を行い、アライグマなどの有害鳥獣による農作物被害の防止策を実施し、活力ある産地を形成します。

2 担い手農業者の確保・育成・支援

青年就農者や新規就農者に対し、国・県における各種施策を活用しながら、栽培技術の習得や機械・施設等の導入に対するきめ細かな支援を行い、地域の担い手となる農業者の確保・育成や農業経営の安定化を図ります。また、優良な耕作条件を有する農地について、地域の担い手を中心とした集積を促進し、農業経営の大規模化を推進します。

3 安定した経営基盤の構築

農地の集約、整備により、農業経営の拡大・効率化を図る基盤整備を行うとともに、農業地域が持つ自然環境を保全し、良好な景観形成など多面的な機能を適切かつ十分に発揮できるよう、農地の有効活用を推進します。

また、作業負担を軽減し、将来にわたり安定的な農業経営を引き継げるよう、ICT*技術等を活用したスマート農業*の導入支援を図ります。

4 環境にやさしい農業の推進

環境にやさしい農業を推進するため、有機農業に取り組む農家の支援を行います。

また、資源の有効活用と農村環境の保全のため、使用済農業用廃プラスチック類の収集・処理対策を行います。

5 個別施策・主要事業

1 活力ある産地の育成

主食用米をはじめとした水稲に加え麦・大豆等の戦略作物*の本作化を推進することで、食料自給率・供給力の強化を図り、水田の効果的活用を進めるとともに、需要に応じた米生産を推進します。

また、JAや関係機関と連携しながら、園芸作物生産の振興、市内外イベント等におけるPR活動や6次産業化*・農商工連携の取組の推進、海外への販路拡大の検討など、本市産農畜産物の認知度向上や消費拡大に向けた支援を行います。

さらに、本市農業への関心を高めるため、地産地消や食農教育、田植え・稲刈りや野菜の収穫等の農業体験など、農業の魅力を広める活動を展開します。

併せて、家畜の感染症予防や、発生した際のまん延防止、畜産経営の安定に向けた支援を行うとともに、結城市鳥獣被害防止計画に基づく有害鳥獣による農作物への被害防止施策を総合的かつ効率的に実施します。

● 重点事業

○ 農業再生対策事業【農政課】

主食用米の需給安定に向けた実需者ニーズに応じた生産の推進

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
水陸田活用率	91.4%	95%	100%

● 農畜産物販売促進事業【農政課】

地産地消及び販売促進の推進、6次産業化*・農商工連携の取組支援、都市・農村交流の推進

農産物PR・販売促進活動回数	13回/年	12回/年	12回/年
----------------	-------	-------	-------

○ 農業振興事業(農林航空防除事業)【農政課】

無人ヘリによる水稲の広域的な防除作業

散布面積	586.1ha	586ha	586ha
------	---------	-------	-------

○ 有害鳥獣被害対策事業【農政課】

増加している有害鳥獣(アライグマ)被害への対策を推進

アライグマ捕獲頭数	127頭	150頭	150頭
-----------	------	------	------

主要事業



3 歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう

3-1 特色ある農業の振興と活性化

2 担い手農業者の確保・育成・支援

若い就農者などの地域の担い手となる農業者を確保・育成するため、認定農業者等が農業経営の発展に必要な機械・施設等を導入する費用の補助や、新規就農者への技術支援を行い、安定した経営を図るための助成を行います。

また、農業の成長産業化を目指し、地域内の農地を対象経営体に貸し付けする農地所有者等へ協力金の交付を行います。

● 重点事業

主要事業

● 認定農業者等育成事業 [農政課]

農業経営基盤強化資金利子助成事業、集落営農*推進事業、新規就農者育成総合対策事業の実施

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
認定農業者数	250人	246人	244人

3 安定した経営基盤の構築

水田・畑作地の農業生産基盤を整備し、地域における農地利用の最適化や規模拡大による農業経営の効率化・生産性の向上を図るとともに、農道等の農村環境整備を行います。

また、ICT*（情報通信技術）やAI*等の先端技術を活用したスマート農業*の導入を図り、農業人口の減少など、農業を取り巻く環境の変化に対応した農業に取り組みます。

主要事業

○ 農地集積・集約化対策事業 [農政課]

農地中間管理事業による農地集積

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
機構を通しての貸借面積	33.5ha	80ha	85ha

○ 土地改良事業 [農政課]

農家や施設管理者等が行う維持管理事業への補助

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
多面的機能支払認定面積	765ha	770ha	775ha

後期基本計画

体系別計画

保健・福祉

都市・環境

産業・観光

教育・文化

協働・行政

4 環境にやさしい農業の推進

環境にやさしい持続可能な農業として有機農業の推進を図り、就農希望者に向けた研修制度や補助、地域おこし協力隊制度の活用等による担い手の確保、講演会の開催による市民理解の促進等に取り組みます。

また、使用済農業用廃プラスチック類の収集・処理対策を行うことで山林等への不法投棄を防止し、資源の有効活用と農村環境の保全を図ります。

● 重点事業

主要事業

○ 園芸振興事業【農政課】

害虫発生状況調査、使用済農業用廃プラスチック類の収集・処理

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
廃プラ回収数量	165.46 t	165 t	165 t

● 環境共生型農業推進事業【農政課】

有機農業に取り組む事業者に対する支援

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
技術指導回数	0回	5回	10回

6 個別計画

計画の名称	計画期間	担当課
結城市農業振興地域整備計画	2021（令和3）年度～	農政課
結城市森林整備計画	2022（令和4）年度～ 2032（令和14）年度	農政課
結城市果樹産地構造改革計画	2023（令和5）年度～ 2027（令和9）年度	農政課
第2次結城市鳥獣被害防止計画	2025（令和7）年度～ 2027（令和9）年度	農政課

3-2 活力と創造力を育む商工業の振興 [商業/工業]



1 現状と課題

本市では、人口減少と高齢化による労働力の減少や消費市場の縮小、地元企業におけるデジタル化やAI*活用への対応の遅れによる競争力の低下が懸念されています。

商業については、人口減少やモータリゼーションの進展により、土地区画整理事業*を進めている国道50号沿線や市北西部など郊外の幹線道路沿いへ新規出店が多く見られます。その一方で、歴史のあるJR結城駅北側の北部市街地では店舗の老朽化や後継者不足などによる空き店舗が目立ち、利用者や人々の往来が減少するなど、空洞化が進んでいることが課題となっています。

工業については、東京に近い立地条件が評価され、輸送の利便性などから製造業や運輸業を中心に様々な業種の企業が進出しており、更なる企業立地のニーズもあることから、新たな産業拠点形成の検討が課題となっています。

また、雇用確保のため、ふるさとへの就労希望者や新たな転入希望者の受入れ強化を含めたUIターン*への対応が検討事項となっています。特に、進学や就職などを機に東京圏などへ転出した市民が魅力を感じるような企業の誘致や育成に取り組む必要があります。

急速なグローバル化*・デジタル化が進んだことにより生活の利便性が向上した反面、複雑・多様化した新たな消費者トラブルが生じており、高齢者から若い世代までが巻き込まれる事例も生じていることから、市民に対する周知・啓発が重要となっています。

2 基本的方針

- 商業については、多様化する消費者ニーズに対応するため、結城商工会議所と連携して、北部市街地と国道を中心としたロードサイドの商業施設との共生・機能分担による商業の振興を図ります。また、歴史や文化などの地域資源*や特産品を活用し、本市独自の観光資源を「地域の稼ぐ力」に変換していくための仕組みづくりにチャレンジします。併せて、北部市街地の活性化を図るため、空き店舗の活用促進、新規出店支援、事業承継支援など既存の商業事業者が活力を維持・向上できるような施策を検討推進します。
- 工業については、社会経済情勢の変化に対応し経営の安定を図るため、既存企業の経営基盤の強化や雇用確保などの各種支援策を行います。また、企業誘致における本市の優位性を効果的にPRし、新たな産業拠点の整備や魅力的な企業の誘致を進め、新たな産業の創出に取り組めます。
- 近年において多様化する消費者トラブルの中で安心して消費生活を送れるよう、消費生活センター*への専門的な相談員の配置により市民からの相談業務を行うとともに、リーフレット配布や出前講座など、市民に対する意識啓発や情報提供を図ります。

3 基本施策の主な指標

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
指標1 製造品出荷額等 (経済構造実態調査)	259,267 百万円 (R5)	264,500 百万円	267,100 百万円

4 施策体系・施策が目指す姿

1 活力ある地域産業の振興

関係機関との連携により、経営基盤の強化や雇用促進を行うことで、地域内事業者の継続的発展や雇用機会の安定化を図ります。

また、事業者・生産者のニーズや本市独自の誘客ポテンシャルを分析し、地域が有する魅力ある商品やサービスを発掘・商品化し、地域の「稼ぐ力」の顕在化を目指します。

2 中心市街地の活性化

中心市街地活性化事業を実施する団体や区域内の空き店舗を活用し、事業を実施する者へ支援を行うことで、中心市街地としてのにぎわいを取り戻し、魅力あふれる商業空間を創出します。

3 健全な消費生活の確保

安全・安心な消費生活のために、消費生活センター*の更なる周知と相談業務の充実、消費生活に関する啓発活動や教育の推進、関係機関との連携強化により、市民が安全で安心して暮らせる消費生活環境の確保を目指します。

4 企業支援の推進

若者や女性に魅力的な雇用の場を確保するとともに、地元工業の発展と地域活力の創造を図るため、工業団地等の産業拠点の整備と立地支援等の企業誘致を推進する等、工業の振興を図り、地域経済の発展と雇用機会の拡大を目指します。

5 個別施策・主要事業

1 活力ある地域産業の振興

市内の商工業者の振興発展を図る結城商工会議所と連携し、各種融資や相談事業等を実施し、地域経済の活性化を図ります。

また、本市が有する資源や特産品を活用した商品の発掘・開発や、販路の拡大を担うことで、地域における「稼ぐ力」の向上を図ります。

さらに、若者や女性にとって働きやすく魅力的な雇用環境づくりを行う企業に対し支援するとともに、企業と就職希望者の交流の場を提供し、人材確保支援や若者の就業支援を行うことで、地域経済の発展、雇用促進、若年層や女性をはじめ幅広い市民の定住化を目指します。

● 重点事業

主要事業

○ 商工業振興事業 [商工観光課]

商工会議所が行う地域商工業の振興に関する事業への支援等

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
商工会議所 会員数	1,055 社	1,080 社	1,100 社

○ 中小企業資金融資対策事業 [商工観光課]

市内中小企業者に対する事業資金の融資等

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
自治金融 融資件数	31 件/年	40 件/年	45 件/年

● 地域経済活性化事業 [商工観光課]

地域資源*を活用した商品開発提案や販路拡大を通じた地域経済の活性化

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
商品・サービス 開発数	—	1 件/年	1 件/年

2 中心市街地の活性化

中心市街地活性化を目的とする事業を実施する団体や区域内の空き店舗を活用した創業者への支援を行います。

また、創業支援事業計画に基づき、関係機関や専門家による相談体制の構築、創業支援セミナー開催やその受講者に対する支援を行います。

● 重点事業

主要事業

● 中心市街地活性化事業 [商工観光課]

中心市街地の空き店舗を活用した創業者への支援に係る改修費や家賃の補助、創業支援セミナーの開催

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
空店舗等活用 事業補助金 交付件数	3 件/年	3 件/年	3 件/年

3 健全な消費生活の確保

複雑・多様化する消費者トラブルを未然に防ぎ、安全・安心な消費生活を守るため、消費生活センター*の存在や役割について更なる周知を図るとともに、高齢者や若年層を中心とした啓発と情報提供のため、リーフレット配布や広報誌掲載、出前講座などを行います。

また、相談員の研修会、学習会への参加や弁護士による消費者問題学習会の開催、関係機関との連携強化により、相談業務の充実を図ります。

主要事業

○ 消費者行政事業 [商工観光課]

消費生活センター*の周知、消費生活に関する啓発活動や教育の推進

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
啓発活動回数	9回/年	11回/年	12回/年

4 企業支援の推進

企業に対する優遇制度の充実や新たな優遇措置の検討により、東京圏などへ転出した若者や女性が魅力を感じるような企業誘致を促進するとともに、工業団地の整備等により、新たな産業拠点整備を推進します。

地域企業への理解を深め、企業担当者との交流を通じて地域産業や企業の実態を把握するとともに、企業と就職希望者の交流の場を提供し、人材確保支援や若者の就業支援を行うことで、地域経済の発展、雇用促進、若年層・女性をはじめとする幅広い市民の定住化を目指します。

● 重点事業

主要事業

● 企業誘致促進事業 [商工観光課]

事業所を新設または増設等したものであるものに対する奨励金の交付

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
交付件数	6社/年	6社/年	6社/年

● 工業団地整備推進事業 [商工観光課]

新工業団地の整備促進

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
新工業団地整備状況	R7 売買契約 予定	立地企業工場 施工着手	立地企業 操業開始

● 雇用促進対策事業 [商工観光課]

高校等と市内企業との就職情報交換会、雇用促進対策セミナーなどの実施

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
就職情報交換会参加企業数	31社/年	35社/年	40社/年

3-3 地域資源を活用したにぎわいと交流の促進

[観光／シティプロモーション／伝統産業／地方創生]



1 現状と課題

本市を代表する地域資源*である結城紬は、長い歴史と高い文化的価値を有しながらも、近年は生産反数、従事者の減少といった課題に直面しており、後継者育成や販路拡大といった継承と発展に向けての取り組みを進めています。

また、北部市街地には、結城紬以外にも桐製品をはじめとした伝統工芸品や味噌、醤油、酒などの醸造品が今も残り、古くから城下町として栄えた趣ある街並みに、見世蔵*や神社仏閣など、歴史と風情を感じさせる観光資源があるものの、それらを生かしたにぎわいの創出や、観光客を受け入れる体制が万全とは言えない状況にあります。

かつては賑わいを見せていた商店街の衰退、大型店舗の撤退などにより、地域経済の中心であった北部市街地の活力は低下していることから、本市が有する観光資源を効果的に活用して人を呼び込み、地域の再生を図ることが喫緊の課題となっています。

また、全国的に人口減少が進行する中で、本市が持続可能な地域社会を築いていくためには、知名度の向上とともに、市民の郷土愛やシビックプライド*を育てていくことが必要であり、本市の魅力を外内に向けて積極的に発信し、幅広くプロモーションしていくことが求められています。

2 基本の方針

- 結城紬をはじめとする伝統産業については、後継者の育成に努めるとともに体験型観光の活用、新商品開発による新規需要の開拓を支援し、産業ベースの支援とあわせて観光面においても振興を進めます。
- 観光誘客については、本市が持つ資源を最大限に活用し、着地型商品の販売を進めるなど第2次商業観光振興計画に掲げた「稼げる観光」の名のもと、観光客に対する便益だけでなく市内事業者還元できるような制度設計の構築やイベントの開催を目指します。
- シティプロモーション*事業については、人々の観光に対する目的、価値観が多様化する中、本市が持つ資源や魅力を柔軟かつ戦略的・効果的に伝えることの重要性が増していることから、本市の魅力を広く発信するシティプロモーション*を多様な媒体で展開し、市民における郷土愛やシビックプライド*の醸成を図るとともに、関係人口*の創出・拡大を通じて、移住・定住へとつながる人材を獲得し、地域力の強化と持続可能な発展を目指します。
- 東京圏への人口流出の抑制やU I J ターンの促進を図るため、本市が有する地域資源*や良好な生活環境などの地域の魅力を活用した移住・定住施策を展開するとともに、若者や女性、高齢者、障害のある方など多様な人々に選ばれる「生涯活躍のまちづくり」を進めます。

3 基本施策の主な指標

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
指標1 常設観光地地点の 観光入込客数	111,875人	250,000人	250,000人
指標2 社会増減数	190人	250人	290人

4 施策体系・施策が目指す姿

1 地域資源を活用した観光の振興

観光誘客の推進により観光客を呼び込むことで、本市に賑わいをもたらします。
また、訪れた観光客が域内消費を行うことにより、市内事業者の売り上げを上昇させるなど、誘客や賑わいを経済効果につなげます。

2 シティプロモーションの推進

「結城の魅力」を市内外に発信し、郷土愛の醸成及び結城ファンの増加を図ることで、関係人口*の拡大及び移住定住に繋がる人材獲得を目指します。

3 伝統産業の振興

結城紬関連団体などへの支援により、作品展や展示販売会、研修会や調査研究、製品検査などの事業を継続させ、安定的な生産体制の確保と販路拡大、認知度向上を目指します。

4 関係人口の創出・拡大と移住定住促進

本市に関わりのある人の流れを活発化し、結びつきを深めることで、地域外からの人材の受入れ環境を向上させ、転入者の増加と定住化を促進します。

また、多様な世代、多様な立場の方が参加する全世代・全員活躍型のコミュニティづくりを図り、地域課題の解決に向けた「生涯活躍のまちづくり」を進めます。

5 個別施策・主要事業

1 地域資源を活用した観光の振興

結城市観光協会による独自の事業や市のイベントの展開により、観光誘客を進めます。
また、「賑わい」の造成と観光誘客によりもたらされる「稼ぐ力」の醸成という2つの命題に挑戦すべく、協会実施イベントの精査、結城紬、御手杵の槍、結城家などに代表される本市独自の観光資源の活用を進めます。

● 重点事業

主要事業

● 観光振興事業 [商工観光課]

結城市観光協会への支援、フィルムコミッション*の推進

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
協会実施イベントの精査・調整	精査	精査して実施	精査して実施

● 観光情報発信事業 [商工観光課]

「御手杵の槍」、「結城家」などの本市独自の観光資源を活用した誘客イベントの実施

イベント実施回数	2回	2回	2回
----------	----	----	----

○ 結城蔵美館運営事業 [商工観光課、生涯学習課]

結城蔵美館を活用した観光誘客

来館者数	17,613人	18,000人	19,000人
------	---------	---------	---------

2 シティプロモーションの推進

北部市街地の見世蔵*・寺社などが残る歴史的な街並み、結城紬を代表とする伝統産業、醸造品や菓子などの物産、市役所周辺に広がる良好な住宅地、市中央に位置する工業団地、市南部に広がる農業エリアなどの地域資源*を「結城の魅力」と定義し、市内外に積極的に発信、PRします。

また、インナープロモーション（市内向け）の推進により市民の郷土愛を醸成するとともに、アウトプロモーション（市外向け）を推進することで結城ファンを増やし、関係人口*の拡大及び移住定住の促進を図ります。

● 重点事業

主要事業

● シティプロモーション事業 [秘書課]

結城の魅力を市内外に発信するため、プロモーション活動を実施

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
SNS投稿数 (主要SNS4媒体の合計数)	526件	583件	630件

3 伝統産業の振興

結城紬に関する作品展や展示販売会の開催による販路の開拓、研修会や調査研究、製品検査による生産体制の安定化や信頼性の確保向上など、関連団体が実施する結城紬振興の事業に対して支援を行います。

また、更なる生産体制の安定化のため、結城紬や桐製品などの伝統工芸技術を習得する者に対する支援も行います。

● 重点事業

主要事業

● 本場結城紬振興事業 [商工観光課]

結城紬振興のため、結城紬関連団体に対する補助金の交付

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
補助団体数	6団体	6団体	6団体

4 関係人口の創出・拡大と移住定住促進

地域おこし協力隊活動や合宿型ワーケーション*、伝統的な文化資源を活用したラーケーション*の受け入れなどを推進することで、地域に継続的に関わる関係人口*の創出・拡大を進め、地域活性化や将来的な移住を目指します。

また、東京圏からの若者や子育て世代の流入を促すため、市外に本市の情報を発信し、ターゲット層への移住支援策を強化するとともに、子育て世代をはじめとする幅広い市民のコミュニティ形成を通じて定住化を促進します。

年齢や障害の有無等を問わず、地元住民や移住者、関係人口*などを対象としたコミュニティづくりを行うことで、地域課題の解決を図り、全世代・全員活躍型の「生涯活躍のまちづくり」に取り組みます。

● 重点事業

主要事業

● 移住・定住促進事業 [企画政策課]

イベント出展、お試し移住の実施や合宿型ワーケーション*の誘致、支援金の交付、子育て世代のコミュニティ形成等

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
お試し移住・合宿型ワーケーション等参加人数	21/人	30/人	30/人

● 地域おこし協力隊事業 [企画政策課]

地域おこし協力隊による地域の活性化、地域課題の解決、地域活動団体の機能強化

指標名	現状値(R6)	中間値(R10)	目標値(R12)
協力隊活用事業数	1事業	3事業	3事業

6 個別計画

計画の名称	計画期間	担当課
第2次結城市商業観光振興計画	2025（令和7）年度～ 2029（令和11）年度	商工観光課
結城シティプロモーション*計画	2023（令和5）年度～	秘書課

後期基本計画

体系別計画

保健・福祉

都市・環境

産業・観光

教育・文化

協働・行政